

第17回定期総会

退職者連合や現役との連携で政策制度、組織拡大、交流行事に取り組む

JAM京都シニアクラブ事務局長 伊藤忠男

9月8日（金）10時30分から京都駅前のホテルで今年度の総会（第17回）を開催した。役員16名、代議員36名、本部大山会長をはじめとする来賓3名にも出席いただき、2017年度経過報告、決算報告を確認、新年度の活動方針、予算の審議を行った。

まず、JAMシニアクラブの理念、目的、活動方針をもとに、京都退職者連合や現役のJAM京滋と連携し、

- 一．暴走安倍内閣の強権政治のもと進められる、社会保障の切り捨て、労働法制改悪、憲法改悪を阻止するための取組を展開する。
- 二．現役の各組合に退職者組織の結集の意義と現在のシニアクラブの活動を知ってもらうためのオルグや、JAM京滋京都府連絡会三役との組織懇談会の実施を通じ現役組合員に対し退職者組織の結成や既存組織への加入をうながしていく。
- 三．会員交流行事として定着した秋の囲碁・将棋・麻雀大会、春のグラウンドゴルフ大会を今年も健康寿命の維持・向上を目的に計画し参加を呼び掛ける。
- 四．年5回の幹事会の開催、年2回の機関誌発行を通じた日常運営や情報発信の強化。
- 五．JAMシニアクラブ、京都退連との積極的な連携と行事参加。

さらにこれら具体的活動を裏付ける168万円余りを計上した一般会計予算を全会一致で承認し総会を終えた。

引続き本部大山会長にも出席をいただき、昼食を楽しみながら懇親会を開催、出席代議員の意見交換・懇親を行い、午後2時過ぎ解散した。

